

## 2.2 社会環境特性

### (1) 人口

#### 1) 総人口の変遷

流域各市の人口（平成19年府統計年鑑）は、豊中市が387,018人、箕面市127,607人、池田市104,320人、豊能町23,132人となっています。豊中市と池田市の人口は昭和30年代から昭和50年頃に急増した後は横ばいになり、現在に至っています。箕面市と豊能町は昭和30年代から平成年代初頭まで増加が続き、その後は横ばいになっています。

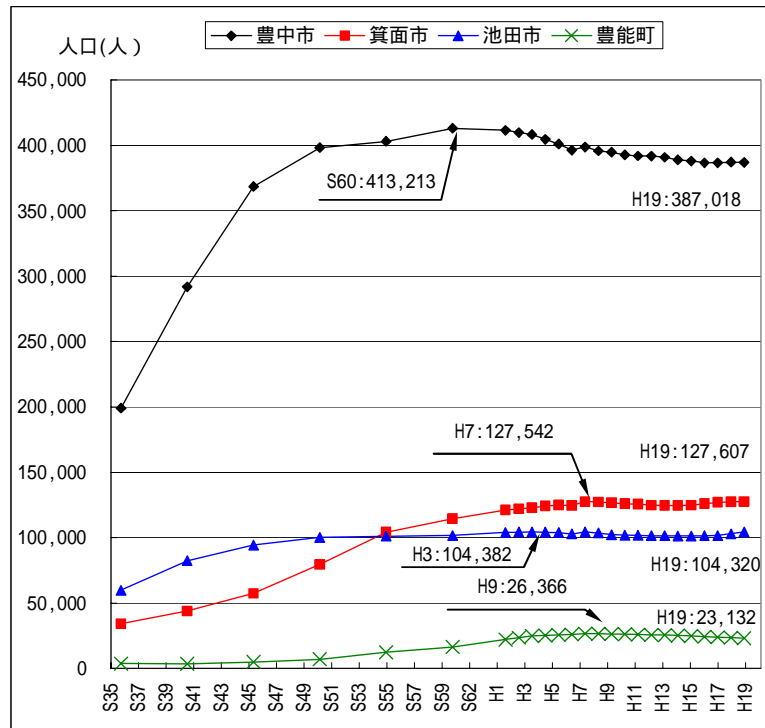


図-2.2.1 各市の人口変化

#### 2) 年齢別人口の変遷

年齢別の人口比率に注目すると、近年、3市1町ともに14歳以下の人口の割合が減少し、65歳以上の人口の割合が多くなってきています。

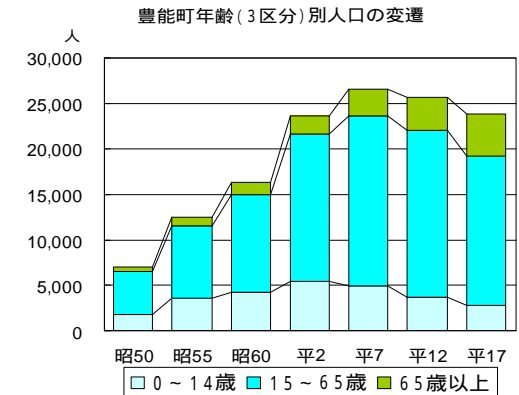
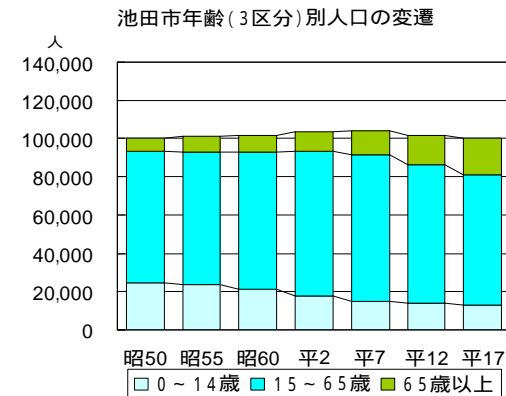
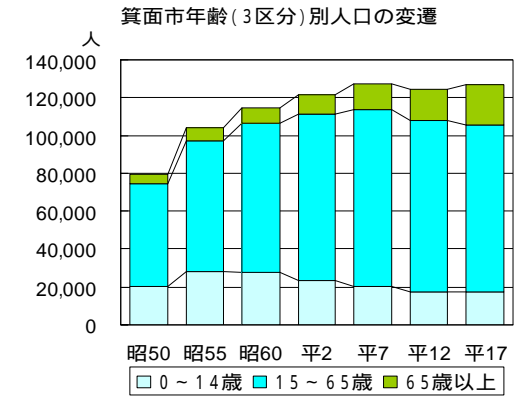
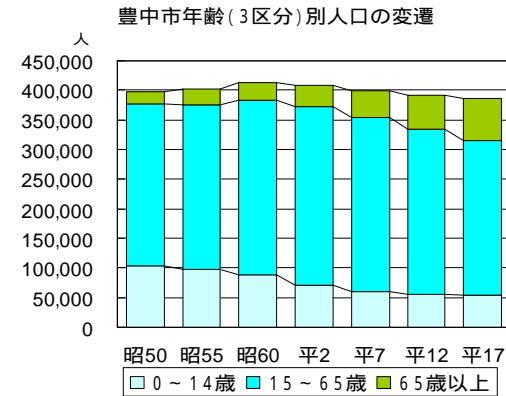


図-2.2.2 各市の年齢別人口割合の変化

(2) 土地利用

猪名川下流ブロックは山地が5割を占め、人口の増加とともに低地、丘陵地さらに山麓周縁まで市街化され、市街地が4割、田畑が1割の構成となっています。南部の丘陵地・低平地では昭和40年代にまでに急激に市街化されました。土地利用現況図を見ると、昭和41年から昭和49年に大きく変化しています。昭和48年は平成18年現在とほぼ変わらない状況になっています。昭和50年代以降の人口の増加が安定期に入って以降は北部の丘陵地で住宅地の開発が進み、余野川流域では池田市伏尾台、豊能町希望が丘、近年開発された箕面市箕面森町、初谷川流域では豊能町のときわ台、光風台の市街化が見られます。平成年代以降は人口は横ばい傾向にあることから、今後、大幅な土地利用の変化はないものと考えます。

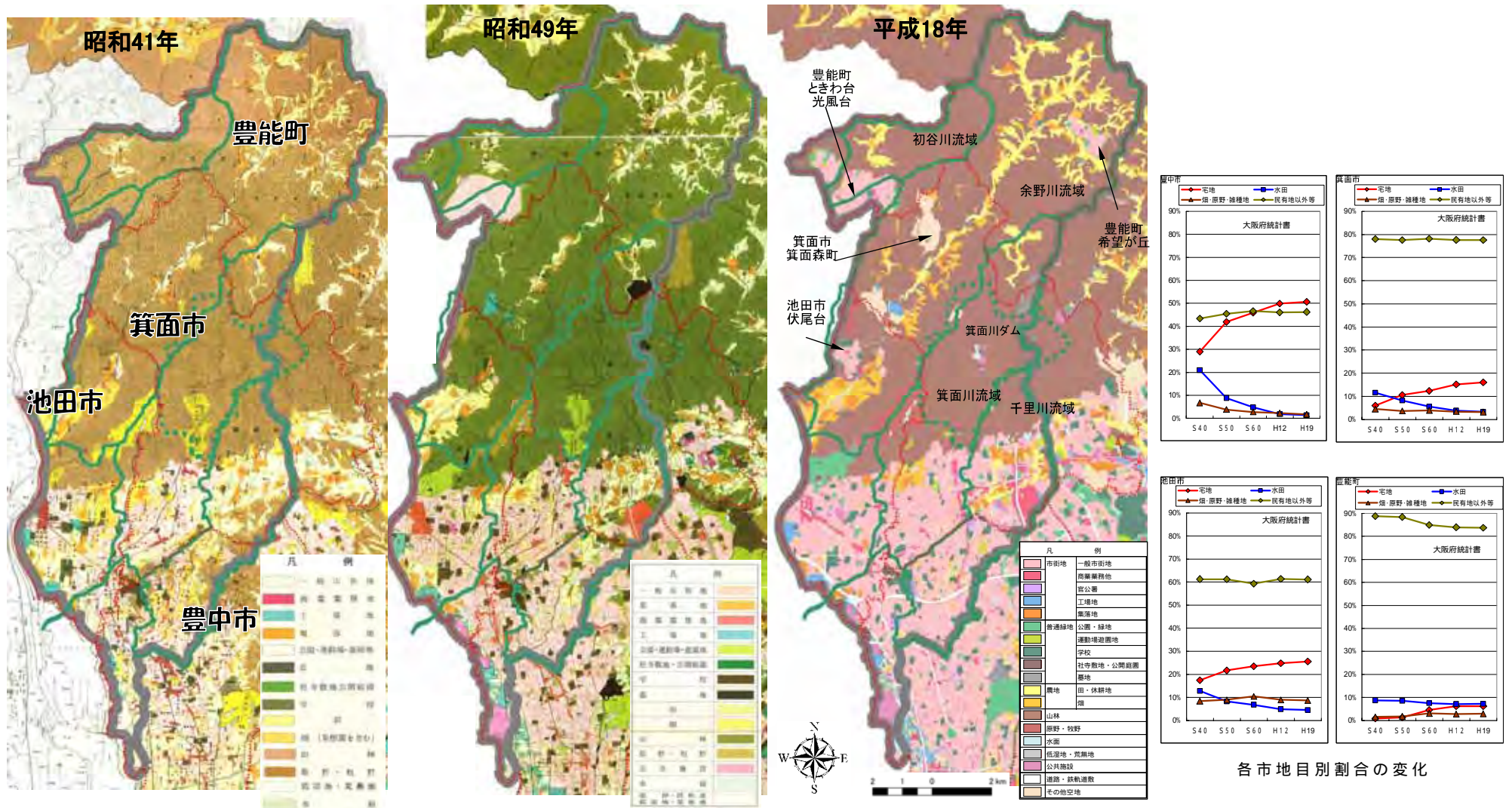


図-2.2.3 土地利用の変化 出典：大阪府土地利用現況図（昭和41年、48年、平成18年）

### (3) 産 業

事業所数および従業員数は3市1町ともに第3次産業が占める割合が多く、豊中市に多く集中しています。

事業所数は昭和50年代にかけて急増し、ピークは豊中市で平成3年、池田市と豊能町は昭和61年、箕面市は平成8年となっています。その後は豊中市と池田市で減少傾向となり、箕面市はほぼ一定、豊能町は平成18年になって減少しています。従業員数は、事業所数の増減傾向に合わせて変動しています。

事業所数は豊中市が最も多く、平成18年の3次産業では11,550箇所、箕面市は3,433箇所、池田市は3,312箇所、豊能町は278箇所となっています。第2次産業も豊中市が最も多く2,221箇所あり、箕面市は363箇所、池田市は331箇所、豊能町は74箇所、箕面市と池田市では第2産業の事業所数の割合は豊中市と比べて小さいものとなっています。

従業員数は、第3次産業では豊中市は103,140人、箕面市は36,648人、池田市は30,111人、豊能町は2,166人で、第2次産業では豊中市は24,024人、箕面市は4,577人、池田市は11,029人、豊能町は490人となっています。箕面市では第2次産業の従業員の割合は他の2市1町と比べて小さなものとなっています。

なお、第1次産業については主な産業である農業の事業所登録が少なく、従事者数も少ないものとなっています。

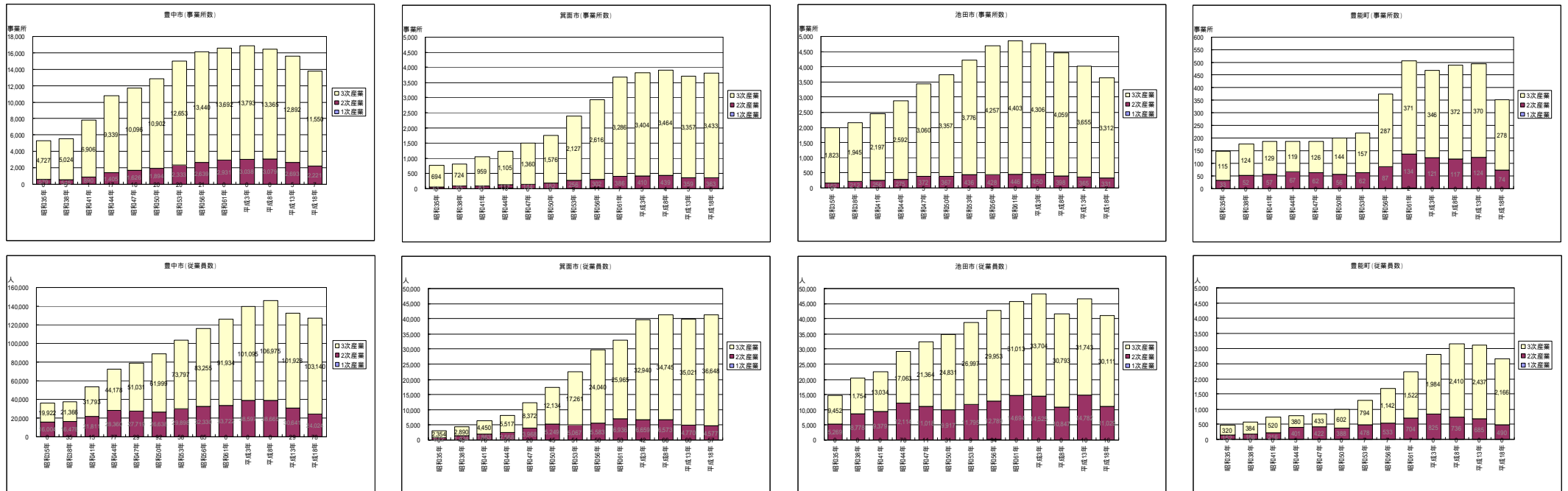


図-2.2.4 関係市町の産業大分類別の事業所数・従業員数の経年変化

(備考：事業所として把握困難な、個人経営の農林漁家は計上されていない)

出典：「大阪府統計年鑑」(総理府統計局「事業所統計調査報告」)

(農業)

近年、経営耕地面積、農家戸数、農家人口ともに減少傾向にあります。平成2年からの傾向を見ますと、経営耕地面積は豊中市と箕面市で大きく減少しています。特に都市化の進んだ豊中市では、経営耕地面積および農家人口が、5割以下に減少しています。山間の豊能町でも、経営耕地面積および農家戸数は約2割、農家人口は約3割減少しています。

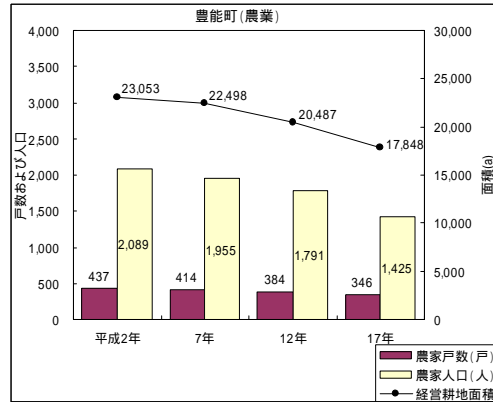
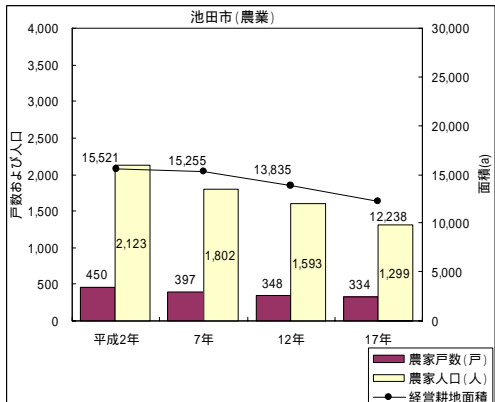
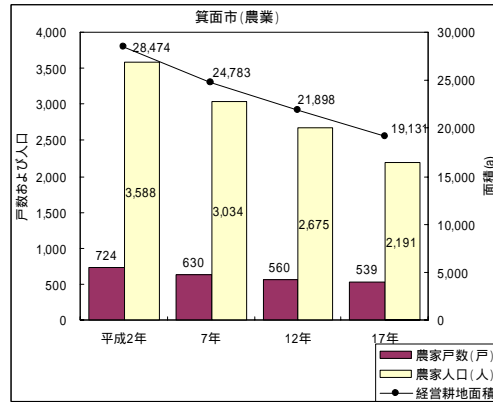
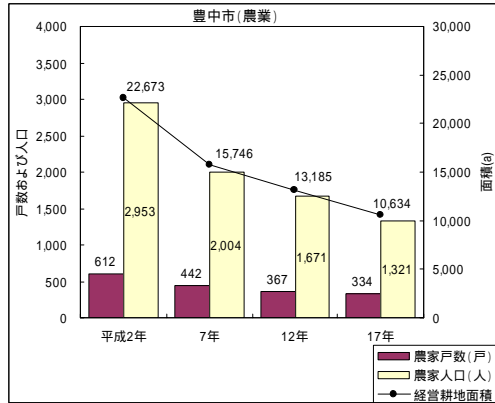


図-2.2.5 農家戸数,農家人口,経営耕地面積の推移

資料:「大阪府統計年鑑」(農林水産省大臣官房統計部センサス統計室「世界農林業センサス」「農林業センサス」「農業センサス」)

注)平成7年以前は、全農家人口を対象に農業従事者数を調査したものであり、平成12年以降は全農家人口のうち販売農家人口を対象に農業従事者数を調査している。

(工業)

近年、事業所数、従業者数及び製造出荷額が減少傾向にあります。平成2年からの傾向を見ますと、平成14年頃から横ばい又は回復の傾向を示しています。池田市では規模の大きな事業所が多いため、事業所数に比べて従業者数が多く、豊能町は事業所数に比べて従業者数が少ないのが特徴になっています。

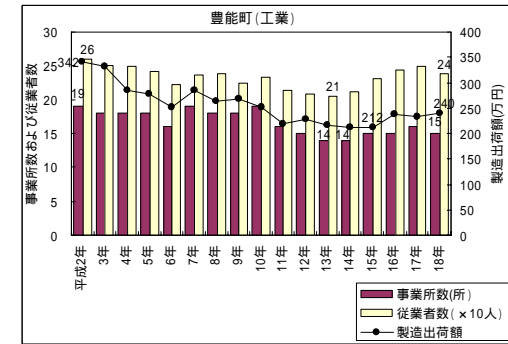
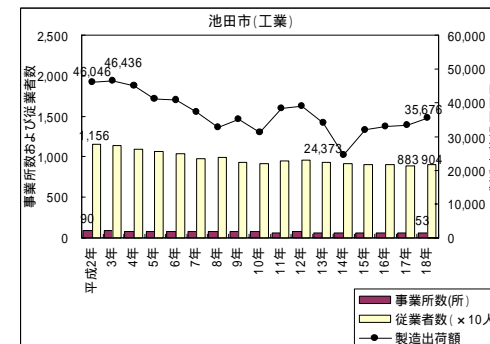
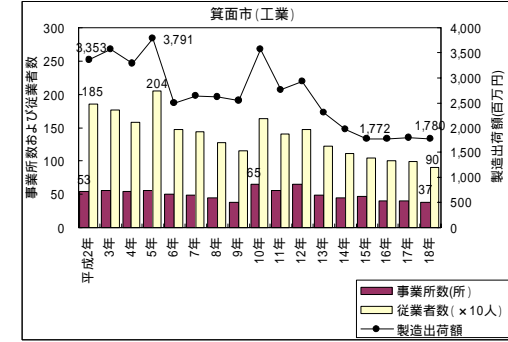
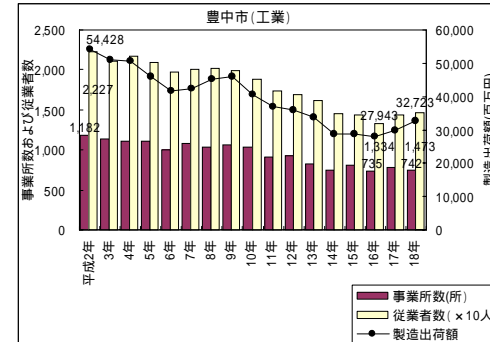


図-2.2.6 事業所数,従業者数,製造出荷額の推移

資料:「大阪府統計年鑑」(大阪府総務部統計課「大阪の工業(工業統計調査結果表)」)

(商業)

豊中市と池田市では、平成6年から平成14年にかけて商店数の減少に伴い年間販売額が大きく減少し、箕面市では平成11年から平成14年、豊能町では平成14年から平成16年にかけて年間販売額が減少しました。

従業者数は3市で平成14年から減少し、豊能町は平成16年に減少しました。平成16年の年間販売額は、豊中市で7,723億円、箕面市4,833億円、池田市1,302億円、豊能町86億円となっています。

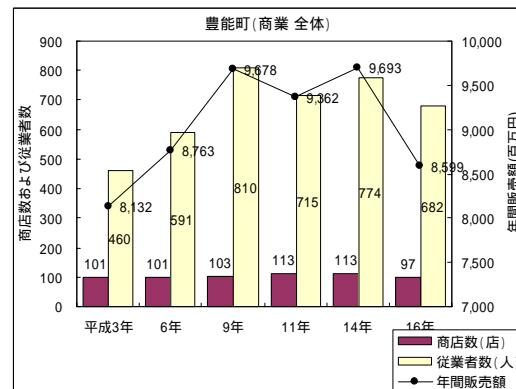
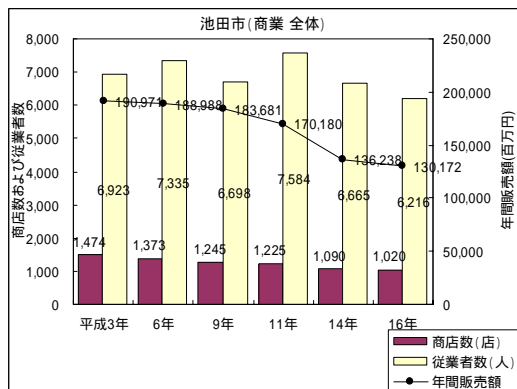
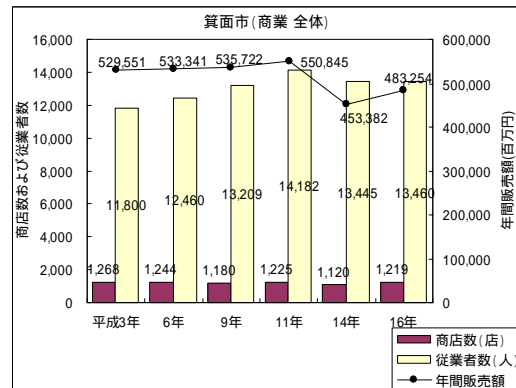
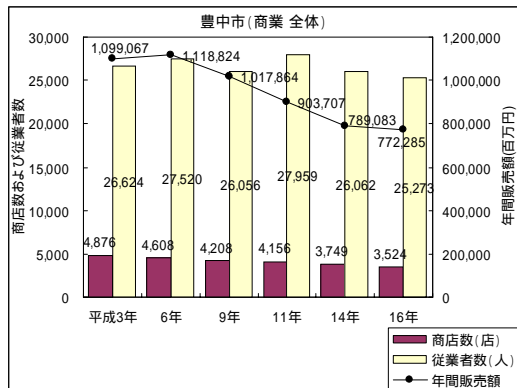


図-2.2.7 商店数、従業者数、年間販売額の推移

資料：「大阪府統計年鑑」(大阪府総務部統計課「大阪の商業(商業統計調査結果表)」)

(特産)

池田市では「植木」「池田酒」、箕面市では「びわ」「菊炭」「焼き栗」「箕面地ビール」「もみじの天ぷら」、豊能町では「かあちゃん漬」「かあちゃんみそ」「柚子豆」「しいたけ」といった特産品があります。



図-2.2.8 特産品一覧図

(4) 下水道整備

公共下水道は戦後着手されて以降、現在の下水道普及率は、平成18年度末において豊能町が98.2%、池田市、箕面市、豊中市は99.9%に達しています。3市1町合わせての行政人口は646,533人、整備人口は645,809人となっています。

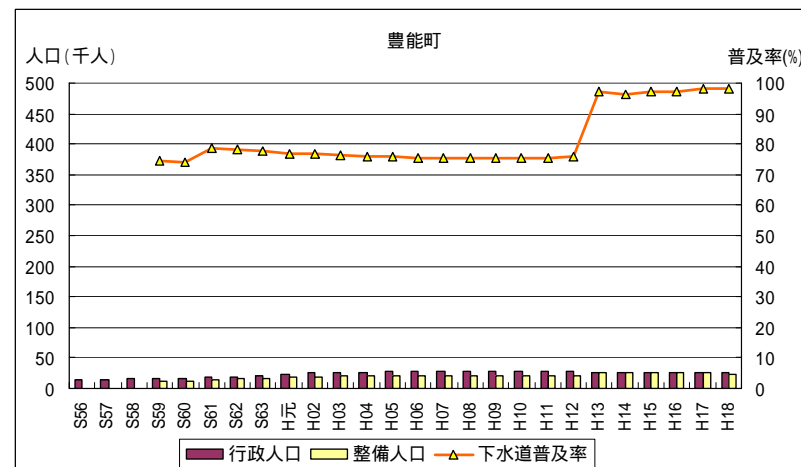
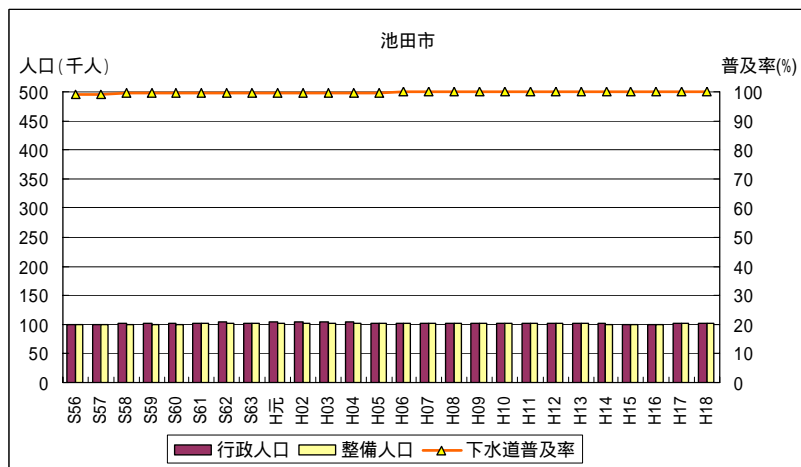
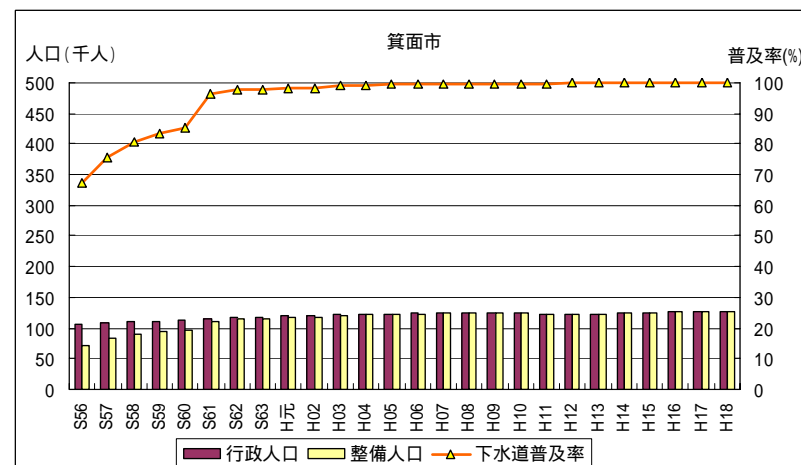
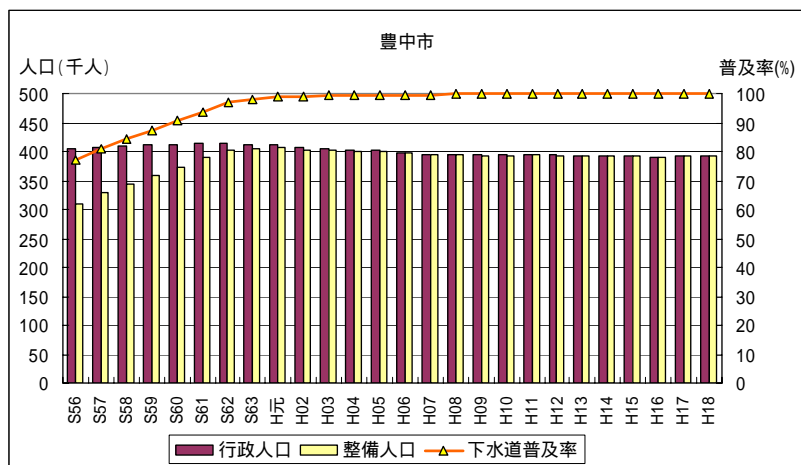


図-2.2.9 下水道普及率 出典：大阪府「大阪府下水道統計」

猪名川流域下水道が3市1町に整備されています。処理人口 451,600 人、処理能力 28,850m<sup>3</sup>/日の  
 全体計画となっており、現在、都市域における全体計画の 99.9%が普及しています。

猪名川流域下水道の全体計画

平成20年1月末現在

区分		流域名	猪名川
区域面積	[		12,107 ha
	大阪府		5,470 ha
処理人口	[		813,100 人
	大阪府		451,600 人
処理水量	[		546,300 m <sup>3</sup> /日
	大阪府		284,850 m <sup>3</sup> /日
幹線延長	大阪府		41,720 m
	ポンプ場		—
施設の内容	箇所数		1箇所
	敷地面積	[	341,810 ] 224,660 m <sup>2</sup>
水みらいセンター			原田
事業主体			大阪府・兵庫県 (大阪府側)
関係都市			豊中市、池田市、 箕面市、豊能町 (兵庫県側)
			伊丹市、川西市、 宝塚市、猪名川町 尼崎市 計7市2町
主要河川			猪名川、余野川 箕面川、千里川
備考			昭和40年度に調査 昭和41年度より事業 実施中(公共下水 道として昭和39年度 より実施)
都市計画決定	当初		H41.11.07
	最終		H16.12.28
下水道法認可	当初		H47.06.21
	最終		H15.08.12
都市計画事業認可	当初		H41.11.07
	最終		H14.03.25

(注) 猪名川流域の[ ]は兵庫県分も含めた数値を表す。



図-2.2.10 猪名川流域下水道 計画図

ア. 全体計画及び事業認可内容

平成20年1月末現在

区分	全体計画	下水道法事業認可	都市計画法事業認可
処理面積 (ha)	(12,107) 5,470	(12,107) 5,470	
処理人口 (人)	(813,100) 451,600	(765,300) 416,700	
処理能力 (m <sup>3</sup> /日)	(546,300) 284,850	(425,500) 221,860	
管渠延長 (m)	(57,890) 41,720	(57,890) 41,720	(57,890) 36,210
ポンプ場数 (箇所)	—	—	—

(( )は兵庫県を含む)

イ. 都市別内訳

都市名	全体計画		平成18年度末		
	処理面積 (ha)	計画区域内人口 (人)	整備面積 (ha)	整備人口 (人)	普及率 (%)
豊中市	2,477	267,686	2,380	267,659	99.9
池田市	595	25,314	284	25,206	99.6
箕面市	1,567	90,773	952	90,764	99.9
豊能町	932	24,365	458	24,143	99.1
計	5,571	408,138	4,074	407,772	99.9

※ 普及率は人口普及率(整備人口/計画区域内人口)

出典：大阪府「大阪府下水道統計」

(5) 公共・レクリエーション施設

公共レクリエーション施設として、明治の森箕面国定公園（園内に大阪府営箕面公園、昆虫館、箕面ビジターセンターなど多くの施設が整備されている）、五月山公園といった自然を利用した施設、柴原体育館、青少年総合スポーツセンターといったスポーツ施設等があり、住民に広く利用されています。



**箕面滝**  
明治の森箕面国定公園は、昭和42年に「明治百年」を記念して東京都の高尾山とともに国定公園に指定されました。紅葉と滝、昆虫館で有名な府営箕面公園とその周辺の森林を合わせた963haの地域となっており、都市近郊にありながら、約1,100種の植物と3,000種の昆虫を育む自然の宝庫として四季を通じて多くの人々が訪れます。箕面の自然については箕面ビジターセンターで学ぶことができます。



**箕面川ダム**  
箕面川ダムは、箕面国定公園内に位置するため、自然や景観に配慮しつつ、昭和57年度に完成しました。平成5年には、自然環境保全に対する取り組みが評価され、環境庁後援の環境賞・優良賞を受賞しました。



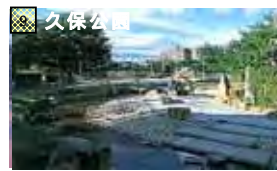
**箕面西公園・親水公園**  
箕面西公園・親水公園の特徴は階段状の小さな滝を意味する「カスケード」。箕面川と広場が一体となり、子供達が自然にふれつつ楽しめる絶好の遊び場になっています。



**野畑親水公園**  
千里川には、野畑地区と箕輪地区に親水護岸や河川公園を整備しており、子供達や家族連れなどの格好の遊び場になっています。



**柴原体育館**  
駅前体育館として、幅広い市民の健康の保持・増進に利用されています。



**久保公園**  
農業用ため池「久保池」を整備してできた公園です。池やせせらぎ等を配置した公園で、近隣の人々に親しまれています。



**青少年教養の森**  
青少年が自然に親しみ、集団生活を通して心身の発達と人格の成長を図るための野外活動の施設です。



**グリーンホール**  
988人収容の大ホールのほか、会議室、和室などがあり、各種公演（文化団体発表会等）、各種会議などに利用されています。



**メイプルホール**  
大ホール(500人)と小ホール(100人)があり、各種公演（文化団体発表会等）に利用されています。



**らいとびあ21**  
人権文化に関する市民の自主的活動をサポートするための事業を推進する施設です。



**医王岩 (薬師岩)**  
医王山薬師寺の北にある高さ25mの巨岩です。人が立つ姿にも見え、古代より信仰の対象とされています。



**15 五月山公園**  
標高315.3mの五月山は、大阪平野や大阪湾の素晴らしい景色が一望できます。桜とツツジの名所で、多くのハイキングコースや小動物園、体育館などもある総合公園として、近郊の人々の憩いの場となっています。



**16 五月山動物園**  
面積・飼育動物数等日本一小さな動物園です。関西でオーストラリアの珍獣コモンウォンバットを飼育しているのは、五月山動物園のみです。



**17 コミュニティ広場**  
新興住宅地内の遊水池を有効利用した施設です。テニスコート2面、多目的広場1面があります。



**18 スポーツ広場**  
球技場、運動広場の施設があります。



**19 郷土資料館**  
先人たちが長い歴史のなかでつくり、守り、伝えた生活文化財を中心に展示を行っています。



**20 青少年総合スポーツセンター**  
運動広場、体育館、水泳プールの施設があります。



**21 ユーベルホール**  
芸術・文化の創造・実践・鑑賞、地域文化の交流・振興の拠点施設となっています。

公共・レクリエーション施設

	施設名	位置 図番
府・その他	明治の森箕面国定公園 大阪府営箕面公園	
	箕面滝	1
	箕面ビジターセンター	2
	昆虫館	3
	箕面川ダム	4
	箕輪親水公園	5
	野畑親水公園	6
	箕面西公園・親水公園	7
豊中市	柴原体育館	8
	久保公園	9
箕面市	青少年教養の森野外活動センタ	10
	グリーンホール	11
	メイプルホール	12
	らいとびあ21	13
	医王岩(薬師岩)	14
池田市	五月山公園	15
	五月山動物園	16
	コミュニティ広場	17
豊能町	スポーツ広場	18
	郷土資料館	19
	青少年総合スポーツセンター	20
	ユーベルホール	21

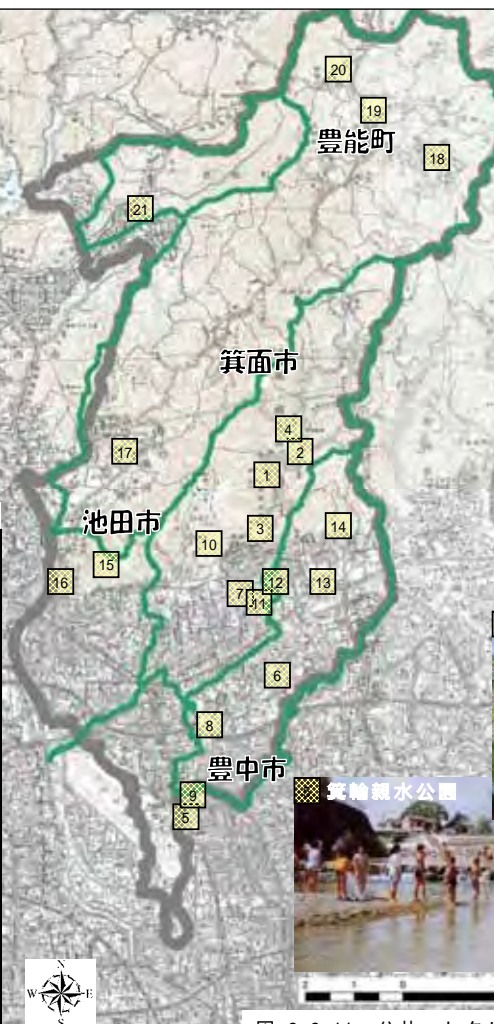


図-2.2.11 公共・レクリエーション施設位置図  
出典：豊中市、箕面市、池田市、豊能町



(6) 交通

猪名川下流ブロックの交通機関は北部が山地部となっているため、南部に集中しています。道路では大阪市内から南北に国道423号(新御堂筋)、東西には国道171号、中国自動車道が走り、鉄道では中国自動車道と並走するように大阪モノレールが門真～大阪空港間を結んでいるのを始め、流域南部を中心に阪急電鉄宝塚線、阪急電鉄箕面線、能勢電鉄妙見線などが整備されています。

また、流域内には名古屋～西宮北間を結ぶ新名神高速道路が計画されています。箕面市市街から余野川沿川の止々呂美付近へ箕面グリーンロードが平成19年に開通しています。

図番号	路線名	観測地点	平日12時間自動車類交通量	混雑度 1	大型車混入率 2	交通量の伸び (H17/H11)
	国道176号	豊中市蛸池東町1丁目	12,260	1.43	6.7	0.98
	豊中亀岡線	豊中市春日町3丁目	4,118	0.62	12.1	0.90
	大阪中央環状線	豊中市桜の町3丁目	71,310	1.47	16.3	1.10
	国道171号	箕面市半町4丁目	29,733	1.29	12.3	0.99
	国道423号	箕面市坊島4丁目	24,252	1.19	8.5	1.15
	箕面池田線	箕面市新稲3丁目	8,182	1.64	5.8	1.17
	高速大阪池田線	池田市木部町	11,685	0.30	14.1	1.11
	国道171号	池田市天神1丁目	25,830	1.22	18.3	1.00
	国道423号	池田市伏尾町9丁目	7,564	1.39	29.1	1.06
	国道477号	豊能町光風台6丁目	4,358	0.58	5.9	0.98
	茨木能勢線	豊能町字高山	1,758	0.35	22.6	0.76
	余野車作線	豊能町字中野東	1,284	0.17	11.3	0.99

表-2.2.1 流域市主要道路の自動車類交通量(平日昼間12時間)

出典:「道路交通情勢調査表」(道路交通センサス)平成17年度(大阪府都市整備部交通道路室)

- 1 混雑度: 調査単位区間の交通量に対する交通容量の比
- 2 大型車混入率: 自動車類交通量に対する大型車交通量の割合(%)

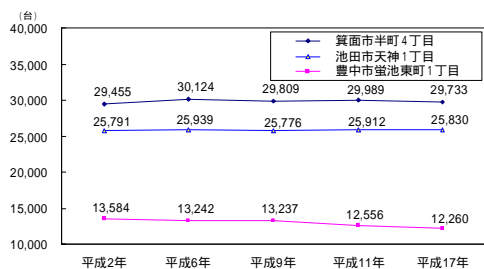


図-2.2.12 流域市の道路交通量の推移(平日昼間12時間)  
出典:「道路交通センサス」(国土交通省)

鉄道名	線名	駅名	1日平均乗車人員(人)		定期利用者の割合(%)
			総数	うち定期	
阪急電鉄	宝塚線	豊中	26,325	13,008	49.4
		蛸池	18,337	6,999	38.2
		石橋	23,015	12,402	53.9
	箕面線	池田	25,787	12,803	49.6
		石橋	1,423	623	43.8
		桜井	5,935	3,261	54.9
能勢電鉄	妙見線	牧落	4,281	2,180	50.9
		箕面	8,810	3,806	43.2
		光風台	2,656	1,749	65.9
		ときわ台	1,960	1,228	62.7
大阪高速鉄道 (大阪モノレール)	本線	妙見口	1,132	482	42.6
		大阪空港	7,408	476	6.4
		蛸池	10,383	3,084	29.7
		柴原	4,059	1,326	32.7
		少路	3,575	1,477	41.3

表-2.2.2 流域市の鉄道乗車人員  
出典:「大阪府統計年鑑」(「阪急電鉄株式会社」「大阪高速鉄道株式会社」資料)



図-2.2.13 主要交通網

## 2.3 歴史・文化

### (1) 歴史・文化財

猪名川下流ブロックには古くは京都から西宮を結ぶ西国街道が走り、かつては西国大名の参勤交代の道として本街道の大阪経由よりもよく利用されました。山間部には寺社が建立され、信仰の場として修験者が行き交いました。現在、国指定重要文化財の「金禅寺三重宝篋印塔」、「如意輪観音坐像（瀧安寺）」、「久安寺の楼門」、「木造阿弥陀如来坐像（久安寺）」をはじめ、多くの歴史文化施設等が残されています。

無形文化財として池田市五月山の「愛宕火（市指定）」や箕面市白島の「白島の太鼓念仏（府指定）」があります。

歴史・文化施設

	指定関係	施設名	位置図番号	
豊中市	国指定	金禅寺三重宝篋印塔	1	
	府指定	金禅寺木造十一面観音立像	1	
		金寺廃寺塔刹柱礎石（看景寺）	2	
	市指定	麻田藩主邸表玄関（報恩寺）	3	
		麻田藩陣屋門	4	
		木造漆箔薬師如来坐像（春日神社）	5	
		木造漆箔阿弥陀如来坐像（円満寺）	6	
		桜井谷2-19号竈跡	7	
		桜井谷2-24号竈跡	8	
蘇鉄（安楽寺）		9		
箕面市	国指定	如意輪観音坐像（瀧安寺）	10	
	府指定	瀧安寺富籤箱一式（瀧安寺）	10	
		豊野三平旧邸長屋門	11	
		石造宝篋印塔（下止々呂美薬師堂）	12	
	市指定	瀧安寺文書（瀧安寺）	10	
		一石六地藏及びび修験石仏	13	
		（の）字状垂飾（郷土資料館）	14	
		如意谷銅鐸出土墳（郷土資料館）	14	
池田市		国指定	木造阿弥陀如来坐像（久安寺）	15
久安寺楼門（久安寺）		15		
府指定	宝篋印塔（無二寺）	16		
	市指定	絹本着色涅槃図（久安寺）	15	
		久安寺縁起（久安寺）	15	
		木造増長天立像（久安寺）	15	
		木造薬師如来立像（久安寺）	15	
		木造十一面観音立像（永興寺）	17	
		伝唐船が淵	18	
		麻田藩主青木家累代の墓（仏日寺）	19	
		木造阿弥陀如来坐像（市立養護老人ホーム）	20	
		伝弁慶の泉	21	
豊能町		府指定	旧走湯天王社の石槽（法性寺）	22



図-2.3.1 文化財分布図

備考：個人等の所有文化財を除く。

豊中市

1. 金禅寺三重宝篋印塔こんぜんじさんじゅうほうきょういんとう（国指定重要文化財）、金禅寺木造十一面観音立像こんぜんじもくぞうじゅういちめんくわんおんのりゅうざう（府指定文化財）

金禅寺の本堂右前には、在銘の三重宝篋印塔があります。塔は各部分とも花崗岩を用材とし、現在失われている相輪の部分を加えて6個の部材からできています。



基礎部の刻銘より、南北朝時代に、何人、何十人かの人達が結集し、浄財を出しあって建立したものであることがわかります。

金禅寺には、前身寺院時代の十一面観音立像があり、本堂中央の厨子の内部に秘仏として安置されています。桧材の寄木造りで、彩色はほとんどなく、素地のままです。鎌倉時代末の年号の墨書があり、豊中市内における数少ない在銘仏像の中に連ねることができます。



2. 金寺麩寺塔刹柱礎石かなでらはいじとうまつちゅうそせき（府指定文化財）

江戸時代に、飛鳥時代後期の創建と考えられる金寺山麩寺跡から看景寺に移置されたもので、金寺山麩寺の塔の心礎と思われます。



箕面市

10. 瀧安寺

白雉元年（650年）役小角が箕面寺を建立したのが始まりといわれ、現在もなお、山岳信仰修験道の根本道場として、全国各地から修験者が集まり、大護摩法要が毎年4・7・11月に行われています。

如意輪観音坐像（国指定重要文化財）、富籤箱一式（府指定文化財）等の重要な文化財があります。



11. 萱野三平旧邸長屋門（府指定文化財）

戸元禄時代、俳人としても著名な萱野三平は、赤穂浪士の一員として名を連ねていましたが、父親が強く反対し、三平は忠と孝の板ばさみとなり、自宅長屋門で自刃しました。旧邸内の北西隅には、辞世の一句を刻んだ句碑があります。

「晴れゆくや 日ごろ心の 花曇り」 涓泉  
管理棟「涓泉亭」には、多くの資料が展示されています。



- 池田市 -

15. 久安寺の楼門（国指定重要文化財）

木造阿弥陀如来坐像（国指定重要文化財）

久安寺は由緒ある古寺で、楼門は国の重要文化財です。間口3間、奥行2間の楼門は、ひろびろとした感じの全面解放の仏像形式を採用した特異な構造で有名です。



久安寺の楼門

桜の一木造で藤原時代末の作と推定されます。阿弥陀堂の本堂の本尊として安置されていたと考えられています。



木造阿弥陀如来坐

16. 石造宝篋印塔 [無二寺]（府指定文化財）

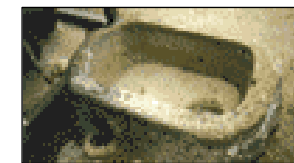
隅飾突起の蓮華座の上に、蕨手文を施した、他に例が少ない塔であり、基礎には、僧俗あわせて13人の名前が彫られています。南北朝時代の貴重な石造美術品です。



- 豊能町 -

22. 旧走湯天王社の石槽 [法性寺]（府指定文化財）

石材は花崗岩、長辺2m、短辺1.3m、内法は各1.5、0.8m、深さ0.5m。製作は鎌倉時代と推定されています。



出典：

豊中の文化財（豊中市教育委員会）、池田の文化財（池田教育委員会）、ふるさと箕面の文化財（箕面市）、豊能町 HP

(2) 行事・イベント

猪名川下流ブロックでは、各市の特徴により、様々が行事・イベントが行われています。  
 箕面市・池田市では、伝統や、箕面の滝の紅葉や五月山の桜などの地域の名所を生かした行事・イベントが行われています。

豊能町では、自然の恵みを生かした行事・イベントが行われています。

豊中市では、ブロック内で開催される著名な行事・イベントはみられません。

表-2.3.1 行事・イベント一覧

1月	写真	8月	写真
・どんど焼き(豊能町)		・市民カーニバル石橋まつり(池田市)	
・恵比須祭り(池田市)		・鮎まつり(池田市)	
・瀧安寺富くじ(箕面市)		・箕面大滝ライトアップ(箕面市)	7
・尊鉢厄神大祭(池田市)		・マンドロ(万灯籠)(箕面市)	
・勝尾寺初はらい荒神大祭(箕面市)		・がんがら火祭り(池田市)	8
・かるた(小倉百人一首)競技会(池田市)		・ジャズ・ピクニック・イン・猪名川(池田市)	
		・猪名川花火大会(池田市)	9
2月		・豊中まつり(豊中市)	
・みのお公園温泉まつり(箕面市)			
・帝釈寺星まつり(箕面市)	1	9月	
		・コスモス(豊能町)	10
3月		・栗拾い(豊能町)	
・真菜まつり(豊能町)	2	・東光院萩まつり道了祭(豊中市)	
4月		10月	
・町内観光ツアー(豊能町)		・秋祭り(池田市)	
・池田五月山さくらまつり(池田市)	3	・春日神社まつり(箕面市)	
・ぼたん祭り(池田市)		・天狗まつり(箕面市)	11
・瀧安寺行者堂戸開法要(箕面市)		・秋祭り(豊能町)	
・五月山春のフェスティバル(池田市)		・神田祭り(池田市)	
・市民レンゲまつり(豊中市)		・豊悠まつり(豊能町)	
		・商業祭(池田市)	
5月			
・弁慶祭り(池田市)		11月	
・新緑カーニバル(箕面市)		・町民祭・農業祭(豊能町)	
・さつき展(池田市)	4	・IKEDA文化DAY(池田市)	
		・もみじまつり(箕面市)	
6月		・もみじまつり(池田市)	
・花菖蒲まつり(池田市)	5	・いけだ・いらっしやいフェスティバル(池田市)	
・余野川アユ釣り解禁(箕面市・豊能町)		・いけだラーメンフェスタ(池田市)	
		・観光フォトコンテスト(豊能町)	
7月		・菊花展(池田市)	
・瀧安寺開山忌大護摩法要(箕面市)	6	・瀧安寺行者堂戸開法要(箕面市)	
・箕面まつり・サマーフェスタ(箕面市)		・農業祭(池田・箕面・豊中各市)	
・細河まつり(池田市)			
		12月	
出典：豊能地区広域観光推進協議会 「風物詩カレンダー」から3市1町抜粋 ：猪名川下流ブロック域外が開催中心地		・年末餅つき大会(豊能町)	
		・みのお市民ツリー(箕面市)	12

1. 帝釈寺星まつり(箕面市)



2. 真菜まつり(豊能町)



3. 池田五月山さくらまつり(池田市)



4. さつき展(池田市)



5. 花菖蒲まつり(池田市)



6. 瀧安寺開山忌大護摩法要(箕面市)



7. 箕面大滝ライトアップ(箕面市)



8. がんがら火祭り(池田市)



9. 猪名川花火大会(池田市)



10. コスモス(豊能町)



11. 天狗まつり(箕面市)



12. みのお市民ツリー(箕面市)



## 2.4 河川の特性

### (1) 河川の状況

#### 千里川

千里川は箕面市の丘陵地に位置する白鳥付近にその源を発し、芋川、箕面鍋田川と合流した後、豊中市の市街地を西南に流下し、大阪空港の南辺を右岸に接しながら猪名川左岸に注ぐ延長約 11 km（うち一級河川区間 10.6 km）の河川です。千里川は中下流部では河床勾配 1/220～1/110、河幅約 25m となり、コンクリートブロックによる護岸整備により、画一的な断面区間となっています。しかし、河床部は瀬や淵が連続的に形成されてきており、ヨシやスキなどの草本類が繁茂しています。上流部となる箕面市内の区間では地形勾配が大きくなるに従い河床勾配は 1/70～1/35 となり、河幅は 8 m 以下で落差工が増え、人工的な河川景観となっています。

親水整備としては下流部に箕輪親水公園、中流部に野畑親水公園、上流部にかやの中央があり、市民が楽しむとともに、アドプト・リバープログラムによる清掃活動も行なわれています。

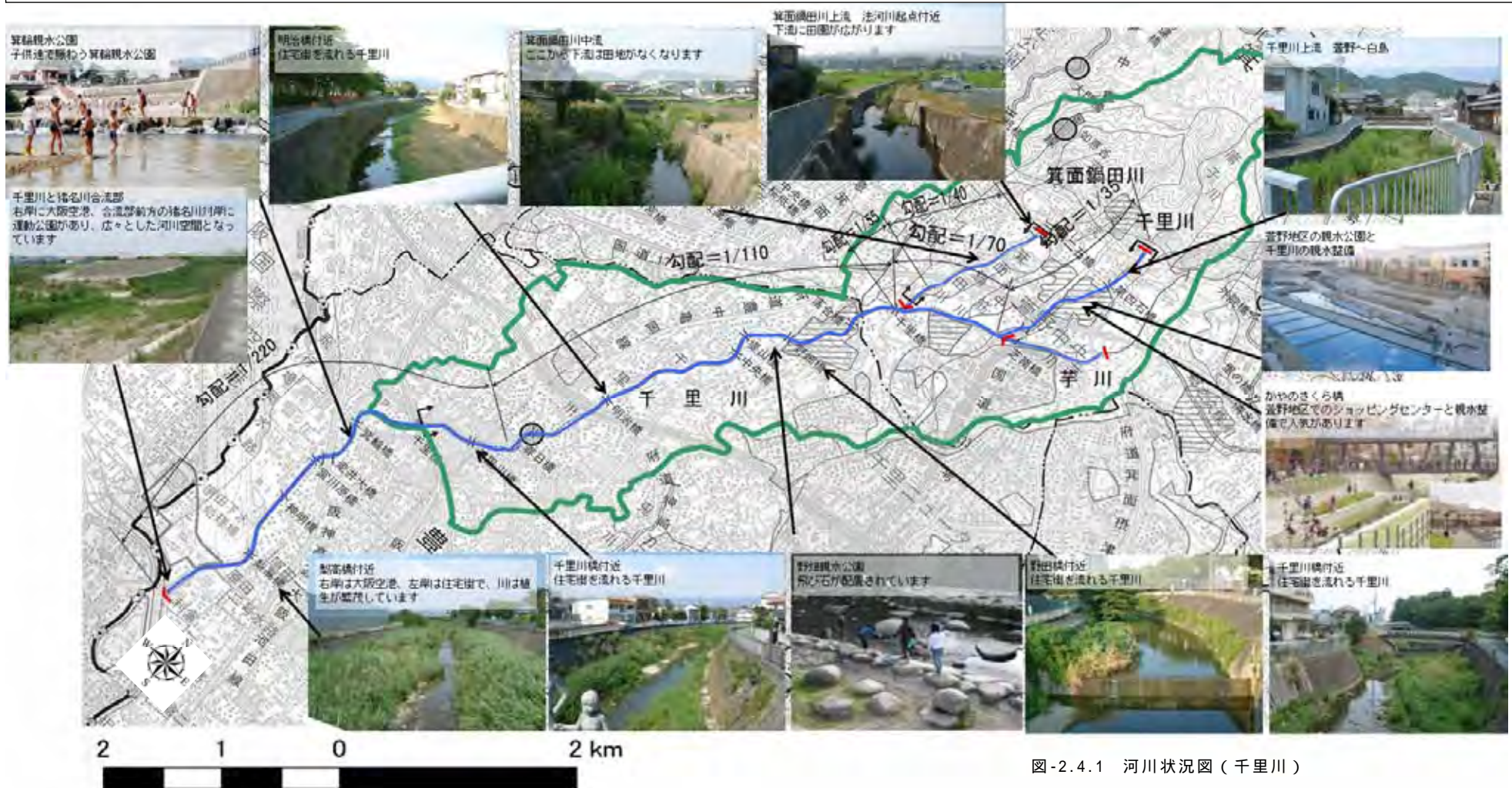


図-2.4.1 河川状況図（千里川）

## 箕面川

箕面川は、豊能町高山に源を発し、箕面市と池田市を貫流し猪名川左岸に注ぐ延長約 16 km（うち一級河川区間 12.4 km）の河川となっています。

豊かな自然に恵まれ、箕面川ダムのある川、箕面滝のある川として府民に知られ、親しまれています。下流部は、河床勾配は約 1/120、河幅は約 25m となっており、護岸沿いに住宅や工場が立ち並ぶ池田市街地を流れる区間は人工的な河川景観となっています。河道内は草本類が繁茂する洲が点在し、野性化したアヒルやダイサギ等の水鳥がよく見られます。箕面国定公園までに至る市街地では、河床勾配は 1/95～1/70、河幅は約 15m となり、落差工や護床工が増えます。沿道では水音が聞こえる様になります。河道内から背後地にかけてサイカチャケヤキ、イロハモミジ等の樹木が茂り、河畔林が護岸を覆う箇所もあります。コンクリートブロック護岸ではあるが緑の多い河川景観となっています。上流部は国定公園に指定される自然の豊かな山間部となっており、箕面川は、河床勾配は 1/25～1/16、河幅 10m 程度となり、河床は露頭し小さな滝が連続する美しい渓流景観を作り出しています。著名な国定公園内の箕面滝やその周辺の森林は年間を通じて多くの人が訪れています。



図-2.4.2 河川状況図（箕面川）

## 余野川

余野川は豊能町の山地に源を発し、国道423号沿いに南西に流下して猪名川左岸に合流する延長約16km（うち一級河川区間15.4km）の河川です。池田市内の下流部では河床勾配は約1/100、河幅は約30mとなっており、周辺は住宅が点在する田園風景が広がっています。河道はコンクリートブロック護岸が概成していますが、河畔林や河道内の洲にはヨシやミゾバ等の草本類が繁茂しています。中流部となる箕面市区間では山間部を流れ、河床勾配は1/50～1/30、河幅は15m前後となり、河床は岩が露頭する溪流景觀となっています。

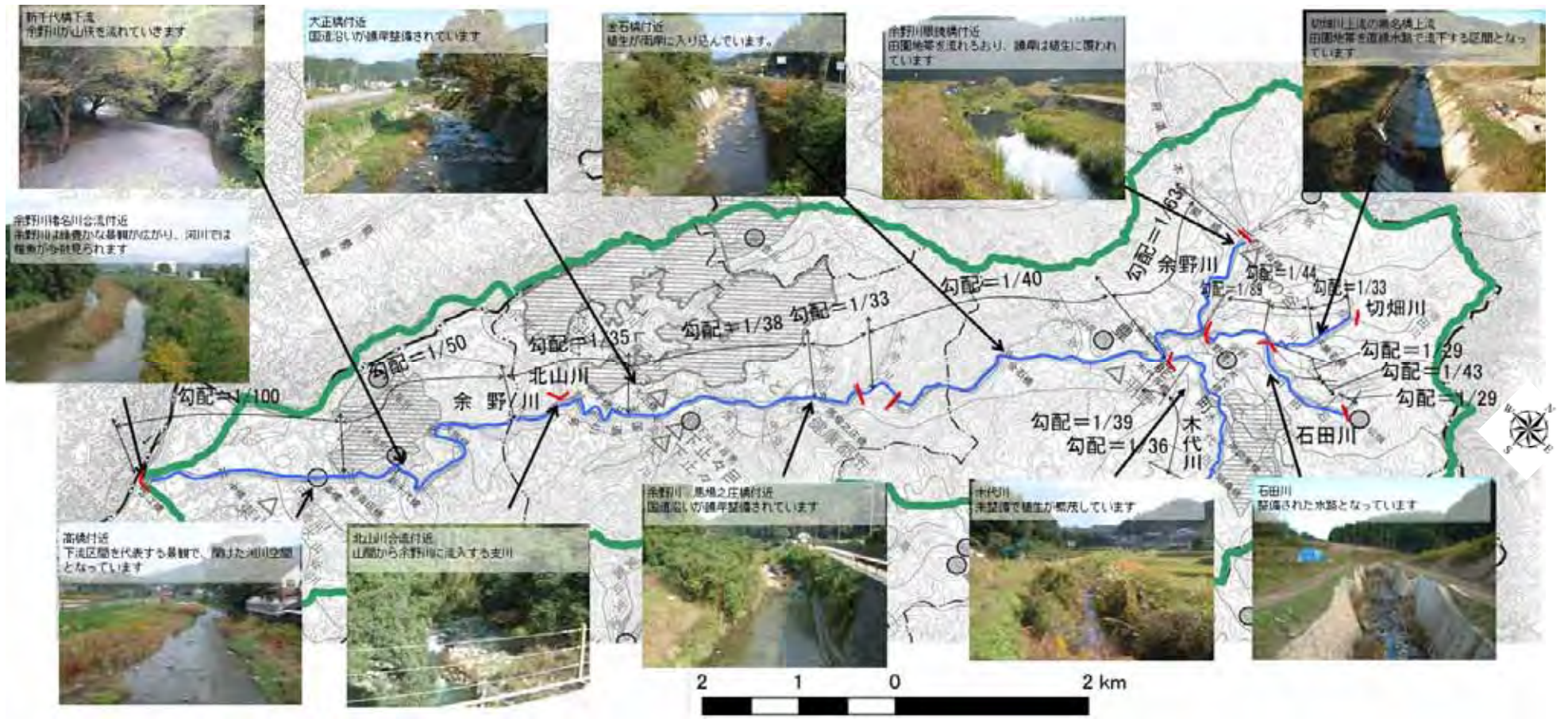


図-2.4.3 河川状況図（余野川）

## 初谷川、猪名川

初谷川は妙見山につながる天台山、光明山を源とし、上流部は溪谷をなす延長3km（うち一級河川区間2.8km）の河川です。下流部はときわ台や光風台の住宅地を流れ、兵庫県境に至り、一庫・大路次川に合流します。初谷川溪谷は大阪みどりの百景に選出され、自然豊かな河川となっています。一級河川区間は50mm/hr対応の整備が完了しています。

猪名川は、余野川が合流するまでの1.2kmが大阪府の指定区間となっており、国土交通省の直轄管理区間につながります。対岸の兵庫県側は住宅地として開発されていますが、大阪府側は田園地帯となっております。



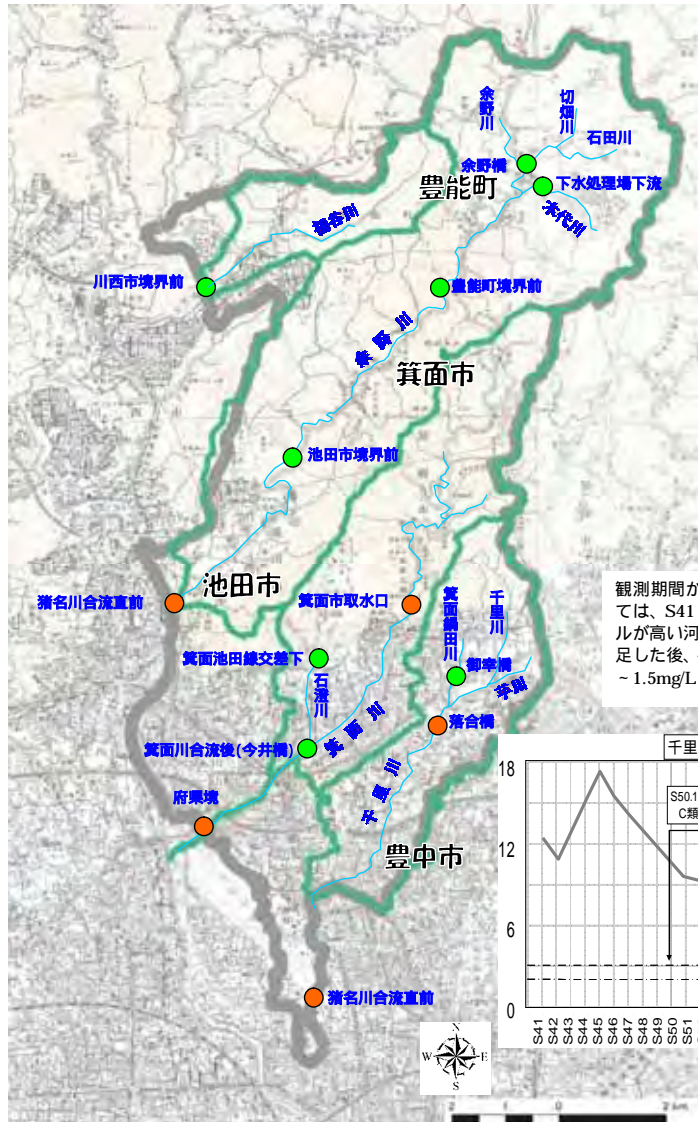
図-2.4.4 河川状況図（初谷川、猪名川）



(2) 水環境  
水質

河川の環境基準は、平成 14 年度の見直しにより、各河川とも A 類型となっています。河川の代表的な汚濁指標とされている BOD (生物化学的酸素要求量) は 2 mg/L 以下が環境基準となります。

猪名川下流ブロックの大阪府公共水域の水質測定地点 5 箇所を見ると、平成 9 年～19 年の BOD75% 値は全地点で環境基準を満足しており、概ね 1.0～2.0 mg/L を推移しています。



河川の類型指定は昭和 50 年に千里川 C 類型、箕面川 B 類型、箕面川箕面市取水口上流 A 類型、余野川 B 類型に指定され、平成 14 年度に見直し告示されました。現在の水質は、変更前の基準値で見ると、箕面川箕面市取水口を除いて、各地点とも大きく下回っています。  
BOD 環境基準  
類型 A : 2mg/L 以下  
類型 B : 3mg/L 以下  
類型 C : 5mg/L 以下

凡例  
● 大阪府公共水域の水質測定計画に基づく測定地点  
● 関係機関による水質測定地点 (水質測定計画外)

観測期間が最も長い千里川猪名川合流直前点については、S41 年からの BOD 値をみると、当初は汚濁レベルが高い河川であったが、S61 年に環境基準 (C) を満足した後、平成元年以降 2mg/L 以下となり、近年は 1.0～1.5mg/L 程度で推移するまで改善されています。

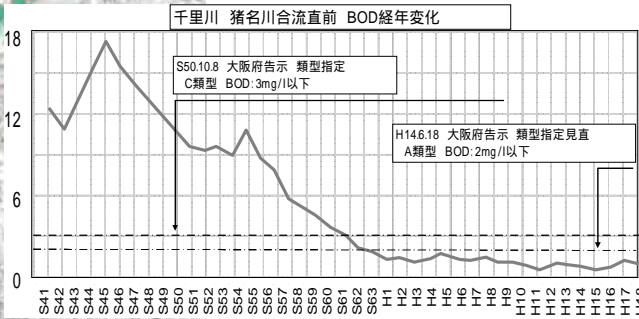
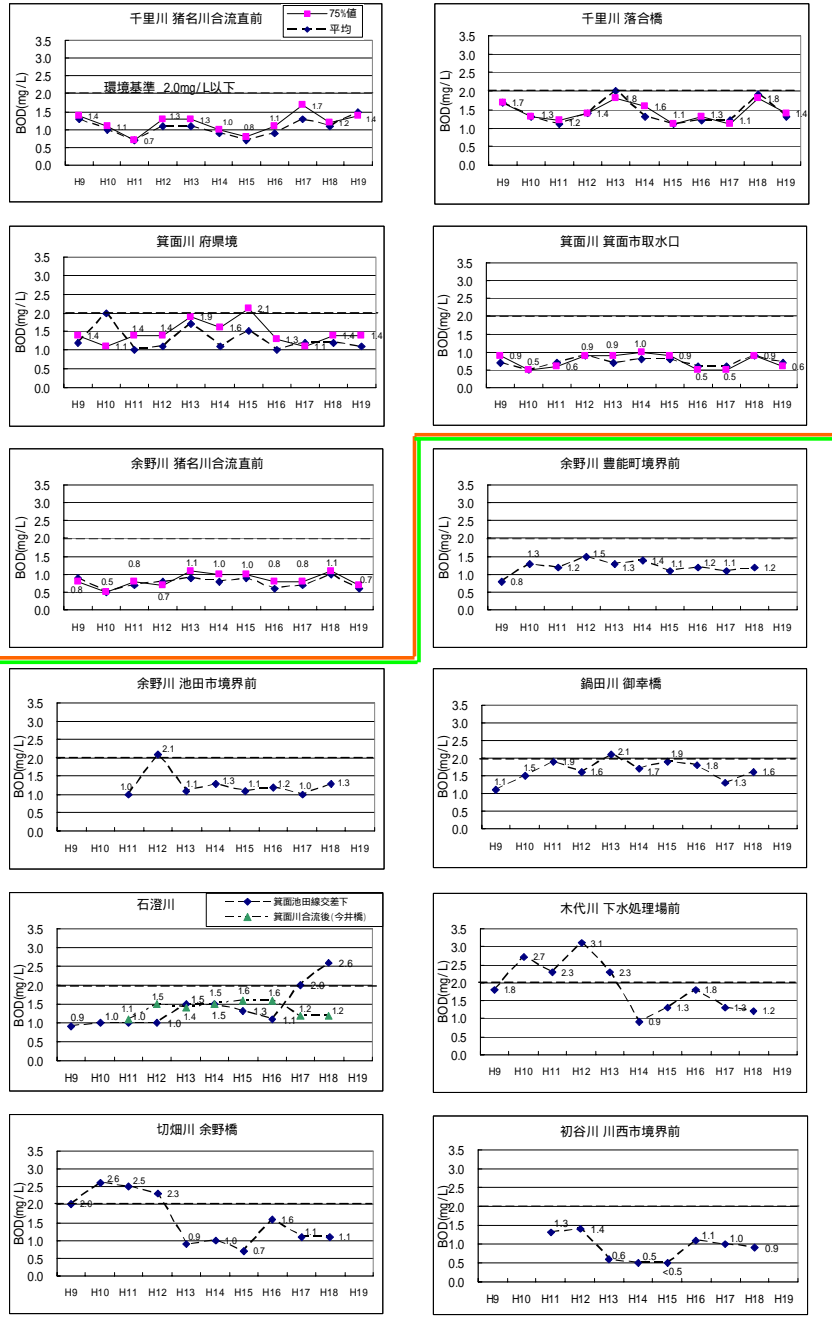


図-2.4.5 調査位置図

大阪府公共水域の水質測定計画に基づく測定地点



関係機関による水質測定地点 (水質測定計画外)

図-2.4.6 水質の状況 (BOD) H19 年データは速報値 (大阪府) 出典: 大阪府「大阪府域河川等水質調査結果」